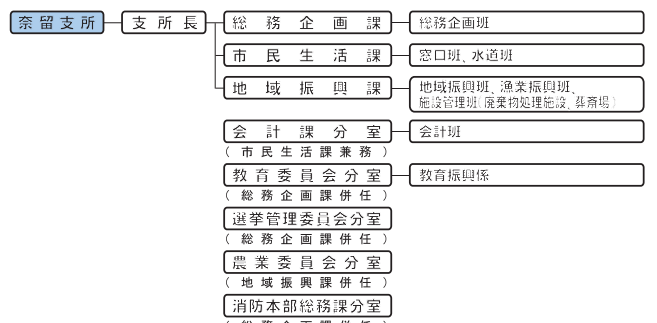
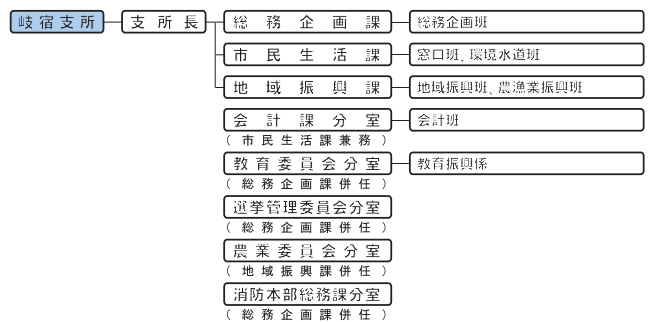
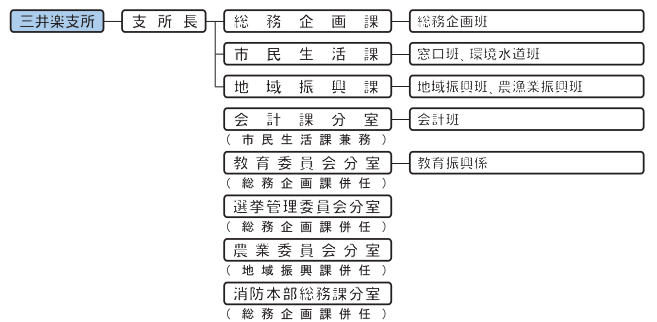
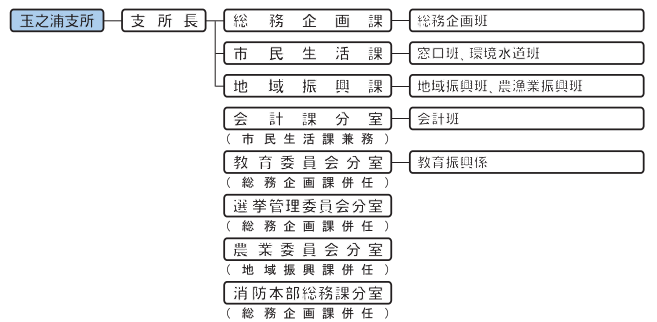
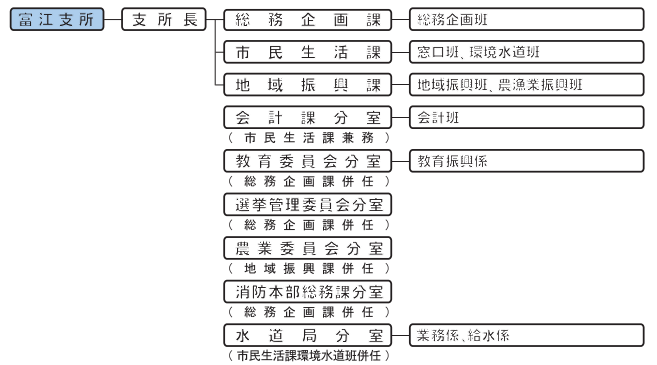
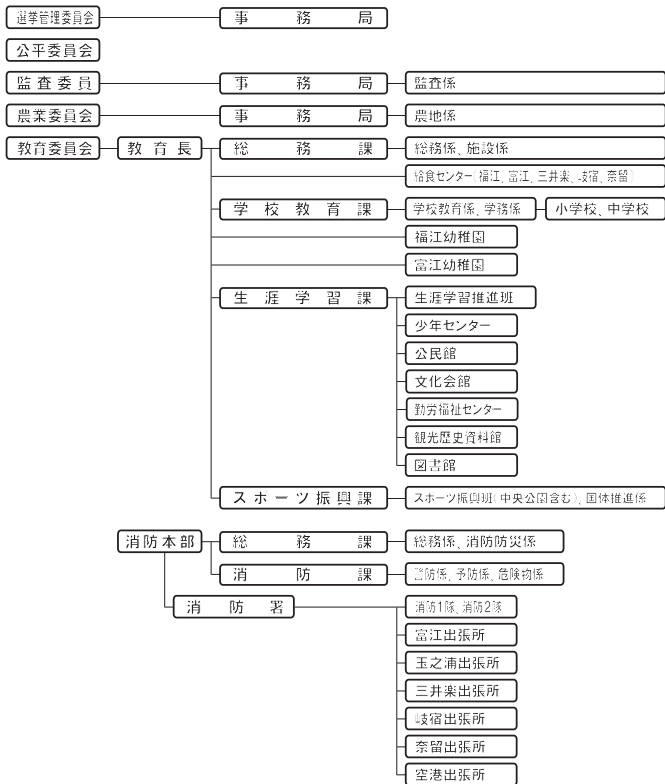
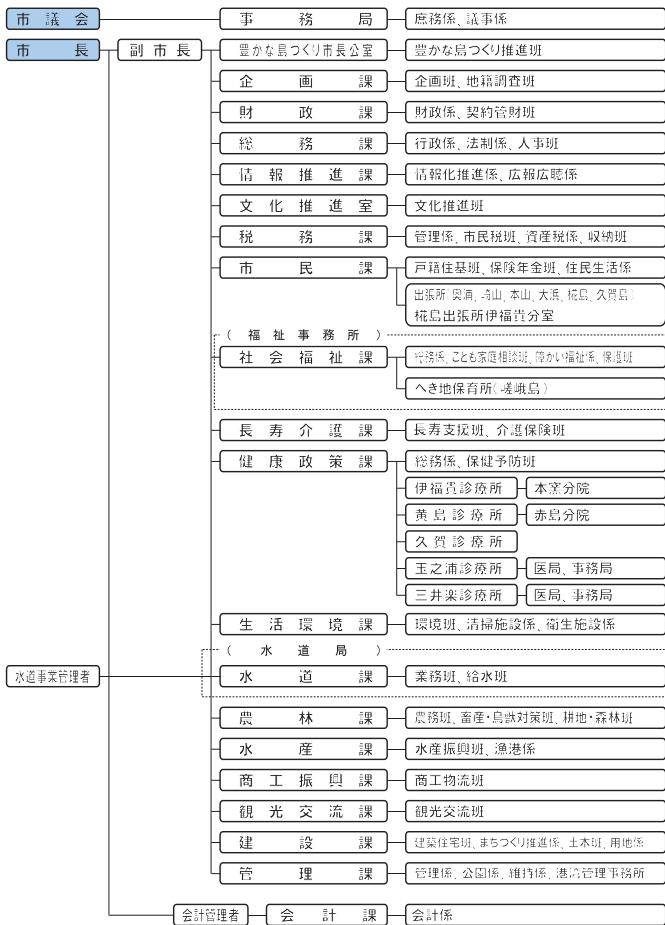


4.五島市・組織・沿革

◎五島市行政機構図 (平成24年4月1日現在)





五島市は平成16年8月1日、福江市、南松浦郡富江町・玉之浦町・三井楽町・岐宿町・奈留町の1市5町が合併（新設合併）して誕生しました。

◎沿革（旧1市5町）

○旧福江市

明治22年4月／南松浦郡福江村・奥浦村・崎山村・本山村・大浜村・柁島村・久賀島村が発足

大正8年10月／福江村が町制施行により福江町に
昭和29年4月／福江町、奥浦村、崎山村、本山村、大浜村が合併して福江市制を施行

昭和32年3月／柁島村を編入

昭和32年11月／久賀島村を編入

○旧富江町

明治22年4月／南松浦郡富江村が発足
大正11年9月／町制施行により富江町に

○旧玉之浦町

明治22年4月／南松浦郡玉之浦村が発足
昭和8年11月／町制施行により玉之浦町に

○旧三井楽町

明治22年4月／南松浦郡三井楽村が発足
昭和15年11月／町制施行により三井楽町に

○旧岐宿町

明治22年4月／南松浦郡岐宿村が発足
昭和16年4月／町制施行により岐宿町に

○旧奈留町

明治22年4月／南松浦郡奈留島村が発足
昭和32年11月／町制施行により奈留町に

5. 市議会・財政



1. 市議会



合併時に発足した五島市議会は、旧1市5町の議員がそのまま新市議会の議員となる在任特例により91人でしたが、平成17年1月30日に議会解散を問う住民投票があり「賛成多数」で即日解散。平成17年2月27日の選挙で、定数26人の新しい議会がスタートしました。

その後、合併後の市の人口が毎年1000人規模で減少していることや行財政改革に対して議会みずから範を示すとの立場から議員定数等調査特別委委員会を発足、26人の定数を22人に削減し、平成21年2月の市議会議員選挙から施行されています。

また、平成25年2月には、3回目の選挙が執り行われます。

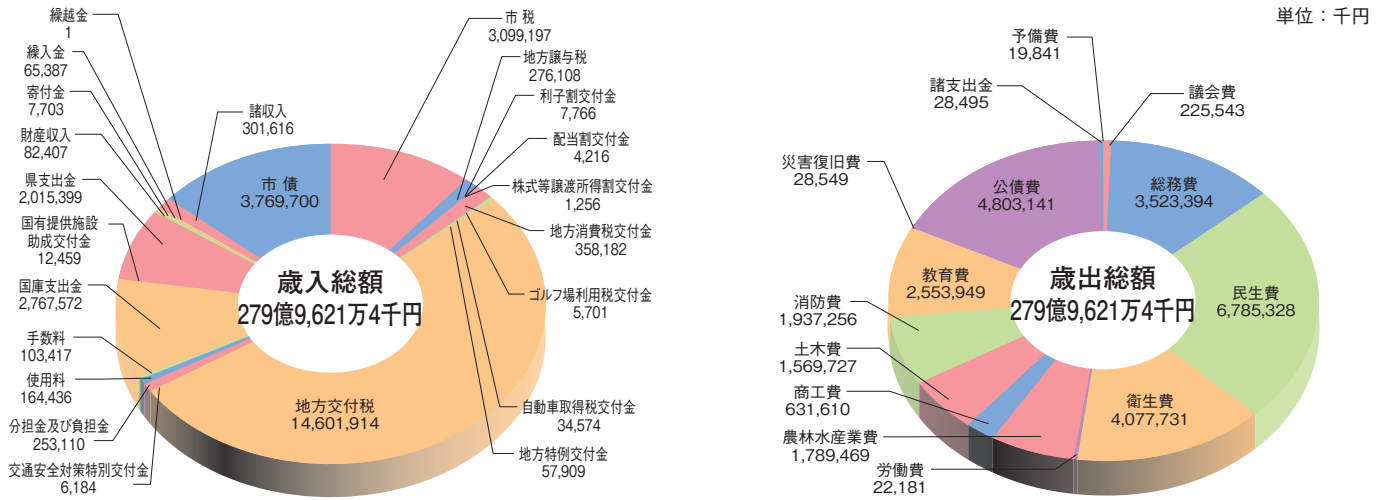
五島市議会議長 椿山 恵三



5. 市議会・財政

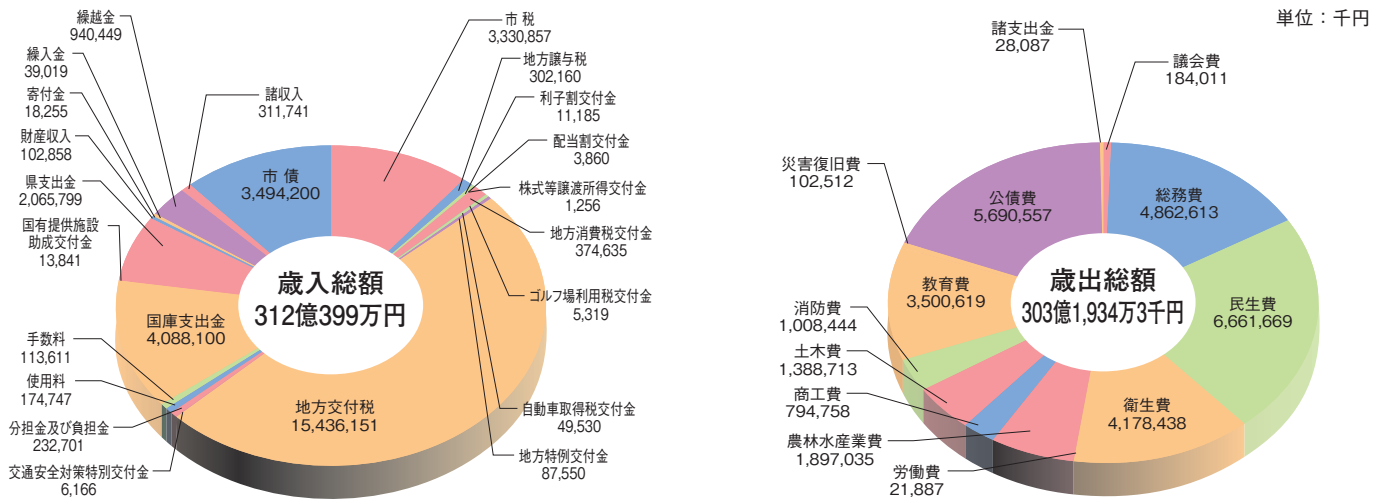
2. 財政

●平成24年度一般会計当初予算



3. 歳入歳出決算の状況

●平成22年度一般会計決算



市の平成22年度決算統計では、普通会計歳入決算額合計は312億円で、そのうち自主財源となる地方税は33億円、歳入総額の10.6%となっています。

地方交付税は、154億円で歳入総額の49.3%を占め、これに国庫支出金などをあわせた依存財源は歳入総額の82.9%、259億円になります。

歳出総額は303億円で、このうち人件費・扶助費・公債費の義務的経費が153億円と歳出総額の50.3%を占めています。

市税等の自主財源に乏しく事業財源を起債に頼らざるを得ないため、実質公債費比率が高くなっています。また、財政の硬直化も進行しているため経常収支比率も高く88.9%となっています。財政力指数は0.24となっており、県下市町村平均(0.39)と比べても低くなっています。なお、市全域が過疎地域自立促進特別措置法の指定を受けています。

4. 特別会計決算の状況

